



* マス目に合わせ植え付けを行いました。広がることを期待して！

みんなでやらいや！ 協働のまちづくり

今月は「かくわの郷庄内」と
「まちづくり大山」です。

『かくわの郷庄内』

はだしで入れるグラウンドをめざして

かくわの郷庄内では、設立当初から優先的に検討してきた旧庄内小学校のグラウンド（約4000㎡）の芝生化を県の支援をいただき、29年度に実施しました。芝生化するにあたっては、視察・見学を行い、芝の設置方法や管理のノウハウを学ぶなど、事前準備をしてきました。この期間は、山あり谷ありで苦勞の連続でしたので、少しご紹介します。

まず、芝の選定についてです。当初は、すき間を空けて植え付けを行えば2年あまりで一面が緑になる品種（ティフトン）を選定しました。しかし、同品種は、芝の産地である名和地区への持ち込みを自粛しなくてはならなかったことから、高麗芝へ変更しました。ところが予算不足が発生。高麗芝500㎡分しか購入できないため、2日かけてカット作業（5万4千枚）を行いました。

この作業を経てようやく植え付けとなるわけですが、当日200人を見込んでいたボランティアは半分にも満たない状態でした。そこで手植えに加え、急遽トラクターを導入し、

なんとか作業を終えました。ボランティアの方々に対しては、1時間の予定だったところ、2時間以上作業をしていただき大変感謝しております。ありがとうございました。

平成30年度は、9月の「ふれあい健康まつり」に芝の定着を間に合わせるため、2か月に一回の肥料散布と月2〜3回の芝刈りを行い管理してきました。残念ながら当日は、雨が降ったため体育館での実施となりました。

植え付けから1年の養生を経て、ようやく安定した活用が見えてきたグラウンド。今年度には、グラウンド一面の緑の芝の中、はだしで参加できる「ふれあい健康まつり」「グラウンドゴルフ」の開催など、多目的に使用できる環境が整います。多くのみなさんに活用いただき、地域の交流の場としていきたいと考えています。

今後は、活動を周知していくため、ホームページの開設や名和公民館まつりへの参加、旧庄内小学校教室の有効活用など、地域ニーズに即した活動を展開していく予定です。